



地域を見つめる経済情報誌

## 長野しんきん 北信地区経済動向

2025  
令和7年  
3-20  
No.631

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

### 月例調査レポート



#### 長野市 「AC長野パルセイロ」 ホーム開幕戦

3月1日、長野UスタジアムにおいてJ3リーグに所属する「AC長野パルセイロ」の今季ホーム開幕戦が開催されました。春らしい天候に恵まれ、開幕戦を待ちわびたサポーターが集結、熱のこもった応援を繰り上げました。選手たちもJ2昇格を目指して躍動し、勝利。スタジアムは熱気に包まれました。なお、「AC長野パルセイロレディース」が所属するWEリーグも冬季の中断を経て再開しています。

- 長野しんきん 月例調査レポート ..... 2
- 企業アンケート「2025年の経営見通し」③ ..... 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン ..... 8
- 北信濃 明治時代の風景 (36) 若里 ..... 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



 **長野信用金庫**

## 生産は2カ月ぶりの低下 前年同月比は5カ月連続の低下

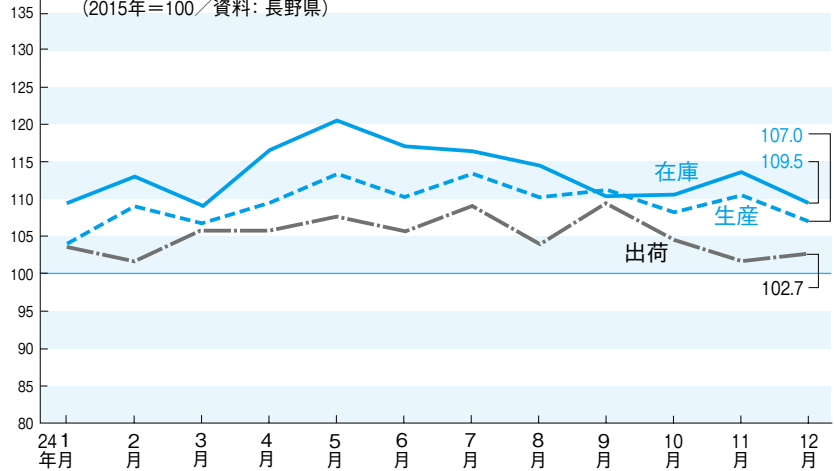
### ◇2024年12月の長野県鉱工業指数 (速報：季節調整済指数)

生産は107.0(前月比▲3.4%)で2カ月ぶりの低下、出荷は102.7(同+1.0%)で3カ月ぶりの上昇、在庫は109.5(同▲3.8%)で3カ月ぶりの低下となりました。

### ◇前年同月比(原指数)

生産は111.5(前年同月比▲6.3%)で5カ月連続の低下、出荷は107.7(同▲8.7%)で5カ月連続の低下、在庫は109.5(同▲5.3%)で13カ月連続の低下となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移  
(2015年=100/資料：長野県)



[生産] 上昇…輸送機械、情報通信機械、食料品など7業種

低下…はん用・生産用・業務用機械、化学、電子部品・デバイスなど10業種

[出荷] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、化学などの8業種

低下…電子部品・デバイス、情報通信機械、窯業・土石製品など9業種

[在庫] 上昇…電子部品・デバイス、食料品、窯業・土石製品など9業種

低下…はん用・生産用・業務用機械、電気機械、化学など7業種

## 月例調査

## 全産業の「売上高DI」は悪化

### ◇2月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前月比は、増加した企業が26.8%、不変が45.4%、減少

が27.8%となり、売上高DI(増加-減少)は▲1.0となりました。前月調査時の+2.6から3.6ポイント悪化しました。

### ●売上高(生産高・施工高)前月比「増加・不変・減少」割合(%)

矢印は前月調査比 (3ポイント以上の動き) 増加 → 不変 → 減少  
改善 不変 悪化

| 全産業<br>(不動産業・旅館業を除く) | 前月     |        |        | 今月     | 変化     | 回収率    |
|----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                      | 増加     | 不変     | 減少     | 増加     | 不変     | 減少     |
| 全産業                  | 31.2 → | 40.2 → | 28.6 ↗ | 26.8 ↘ | 45.4 ↗ | 27.8 → |
| 製造業                  | 25.7 ↘ | 44.3 ↗ | 30.0 → | 25.7 ↘ | 44.3 ↗ | 30.0 → |
| 建設業                  | 18.2 ↘ | 51.5 ↗ | 30.3 → | 18.2 ↘ | 51.5 ↗ | 30.3 → |
| 卸小売業                 | 24.4 ↘ | 48.8 ↗ | 26.8 ↗ | 24.4 ↘ | 48.8 ↗ | 26.8 ↗ |
| サービス業                | 60.0 ↗ | 20.0 ↘ | 20.0 ↗ | 60.0 ↗ | 20.0 ↘ | 20.0 ↗ |
| 輸送業                  | 57.1 ↗ | 28.6 ↘ | 14.3 ↘ | 57.1 ↗ | 28.6 ↘ | 14.3 ↘ |
| 外食業                  | 66.7 ↗ | 22.2 ↘ | 11.1 ↘ | 66.7 ↗ | 22.2 ↘ | 11.1 ↘ |

|                |             |             |
|----------------|-------------|-------------|
| 189社(回収率85.9%) | 30人未満 71.4% | 30人以上 28.6% |
| 198社(回収率90.0%) | 30人未満 71.2% | 30人以上 28.8% |
| 70社(回収率89.7%)  | 30人未満 62.9% | 30人以上 37.1% |
| 66社(回収率94.3%)  | 30人未満 84.8% | 30人以上 15.2% |
| 41社(回収率89.1%)  | 30人未満 78.0% | 30人以上 22.0% |
| 5社(回収率71.4%)   | 30人未満 60.0% | 30人以上 40.0% |
| 7社(回収率77.8%)   | 30人未満 28.6% | 30人以上 71.4% |
| 9社(回収率90.0%)   | 30人未満 44.4% | 30人以上 55.6% |

# 製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

## 「生産高DI」一般機械・精密機械が改善するも、全体は悪化

製造業の生産高前月比は、増加した企業が25.7%、不変が44.3%、減少が30.0%となり、生産高DIは▲4.3となりました。前月調査時の▲1.5から2.8ポイント悪化しました。

### ●生産高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

|       |    |         |         |         |
|-------|----|---------|---------|---------|
| 製造業   | 前月 | 30.2    | 38.1    | 31.7    |
|       | 今月 | 増加 25.7 | 不変 44.3 | 減少 30.0 |
| 食料品   |    | 26.7    | 33.3    | 40.0    |
| 金属加工  |    | 7.1     | 35.8    | 57.1    |
| 一般機械  |    | 33.3    | 55.6    | 11.1    |
| 電気機械  |    | 50.0    | 16.7    | 33.3    |
| 自動車部品 |    | 20.0    | 60.0    | 20.0    |
| 精密機械  |    | 42.9    | 57.1    | 0.0     |

【業種別】改善…一般機械・精密機械

横ばい…食料品

悪化…金属加工・電気機械・自動車部品

【機械稼働】上昇企業の割合 (19.0%) → 10.1%

低下企業の割合 (19.0%) → 24.6%

機械稼働状況(前月比) 下降

機械稼働率 (83.5%) → 78.0%

【受注状況】増加企業の割合 (19.0%) → 7.2%

減少企業の割合 (14.3%) → 30.4%

受注量(前月比) 下降

受注残高(2.5ヵ月) → 2.1ヵ月

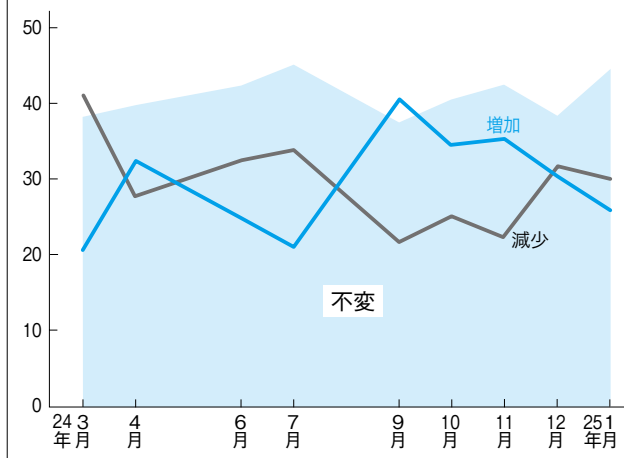
【受注基調】上昇企業の割合 (21.0%) → 7.1%

下降企業の割合 (22.6%) → 28.6%

受注基調(前月比) 下降

### ●生産高前月比「増加・不変・減少」割合の推移

(%/資料:当金庫)



### 企業からのコメント

★全国的な消費低迷により、当社顧客の出荷も低迷しているため、段ボールの需要が減っている。また、原材料価格が高止まりしている。(段ボール)

☆人手不足感が企業全体であり、省力化・省人化装置の引合いが来ている。今後その傾向が続くと思われる。(半導体製造装置)

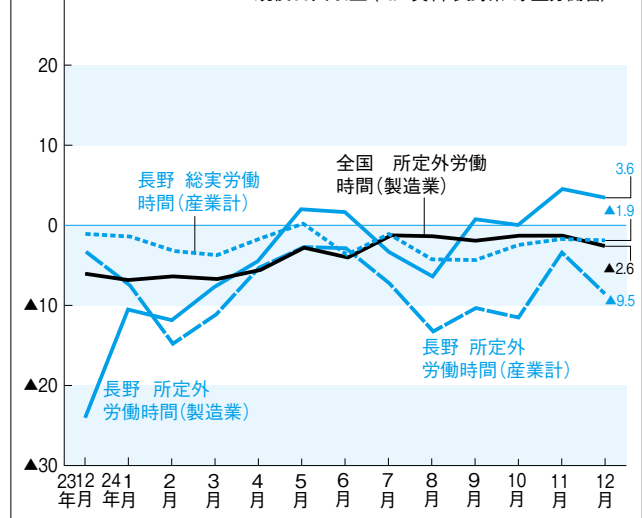
☆★1月は前月の反動と業界全体の下降基調で売上が落ちたが、2月以降の受注はそれなりに出ているので、春に向けて上昇に期待したい。

(精密板金部品)

☆国内の食材原料が不足しているため、海外原料の引合いが多い。このため、円安による原料コスト上昇で業績は悪化傾向。(食料品)

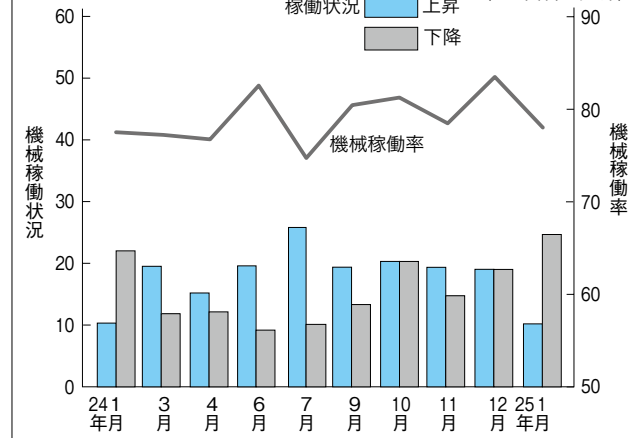
### ●長野県の労働時間の動き<前年同月比>

規模30人以上(€/資料:長野県・厚生労働省)



### ●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・下降」割合の推移

(%/資料:当金庫)



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高DI」土木工事が改善するも、全体は悪化

概況

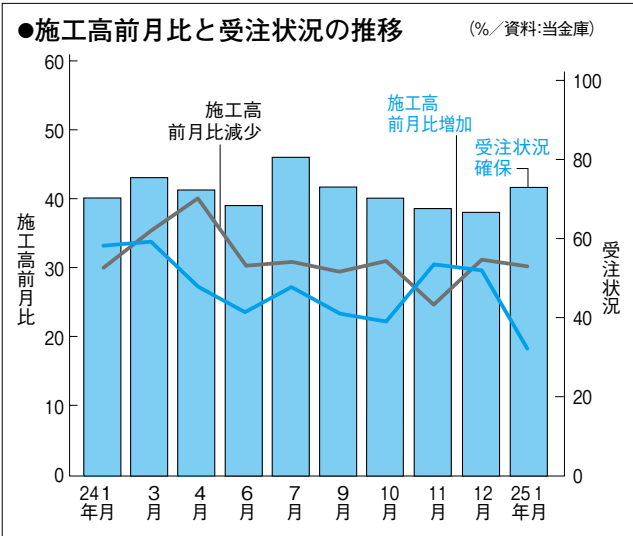
建設業の施工高前月比は、増加した企業が18.2%、不変が51.5%、減少が30.3%となり、施工高DIは▲12.1となりました。前月調査時の▲1.6から10.5%悪化しました。

●施工高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

|       |    |         |         |         |
|-------|----|---------|---------|---------|
| 建設業   | 前月 | 29.5    | 39.4    | 31.1    |
|       | 今月 | 増加 18.2 | 不変 51.5 | 減少 30.3 |
| 総合建設業 |    | 44.4    | 44.5    | 11.1    |
| 土木工事業 |    | 33.3    | 46.7    | 20.0    |
| 建築業   |    | 13.6    | 54.6    | 31.8    |
| 各種設備業 |    | -0.0    | 58.3    | 41.7    |

【業種別】改善…土木工事  
悪化…総合建設・建築・各種設備

【受注状況】「多い・適正」企業の割合（66.7%）→ 73.0%  
「少ない」企業の割合（33.3%）→ 27.0%  
受注高月商倍率（3.09カ月）→ 3.36カ月



企業からのコメント

☆★埼玉県で発生した下水道起因の陥没事故により、維持管理修繕の認知度が上がったことで、予算が増加すると思われる。一方で競合他社も増えると思われる。(土木)

☆★新規受注が進まず、受注残が減少している。民間建築工事に関しては引合い多いが、下請業者の人手不足で断るケースも生じてしまっている。(総合建設)

| 4～1月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)                                                                                                                       |        |         |         |                 |        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------|---------|-----------------|--------|
| 長野県の4～1月の発注合計は、2,081.8億円(前年同期比+11.5%)となりました。前年比増加は「県」の581.5億円(同+6.3%)、「市町村」の643.5億円(同+1.5%)、「その他」の596.5億円(同+50.0%)、減少は「国」の256.2億円(同▲9.9%)でした。 |        |         |         |                 |        |
| 北信地区市町村の発注合計は197.3億円(同▲16.7%)で、うち長野市は91.9億円(同▲2.8%)でした。                                                                                       |        |         |         |                 |        |
| ●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2025年1月/2024年4月～2025年1月累計)                                                                                   |        |         |         |                 |        |
| (単位=百万円/資料: 東日本建設業保証株)                                                                                                                        |        |         |         |                 |        |
|                                                                                                                                               |        | 2025年1月 | 前年同月比   | 2024年4月～2025年1月 | 前年同期比  |
| 長野県                                                                                                                                           | 国      | 3,005   | +625.9% | 25,616          | ▲9.9%  |
|                                                                                                                                               | 県      | 3,029   | ▲14.5%  | 58,147          | +6.3%  |
|                                                                                                                                               | 市町村    | 2,727   | ▲54.3%  | 64,348          | +1.5%  |
|                                                                                                                                               | その他    | 397     | ▲68.0%  | 59,648          | +50.0% |
|                                                                                                                                               | 合計     | 9,158   | ▲18.0%  | 208,175         | +11.5% |
| 北信地区                                                                                                                                          | 市町村    | 1,183   | +60.7%  | 19,730          | ▲16.7% |
|                                                                                                                                               | (内長野市) | 329     | ▲20.1%  | 9,189           | ▲2.8%  |

| 4～1月の新設住宅着工戸数                                                                                                     |         |        |        |          |        |         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------|--------|----------|--------|---------|
| 長野県の4～1月の新設住宅着工戸数は9,633戸(前年同期比+3.1%)でした。持家が5,190戸(同+1.1%)、貸家が2,695戸(同▲2.4%)、分譲が1,687戸(同+22.6%)、給与が61戸(同▲11.6%)です。 |         |        |        |          |        |         |
| 北信地区の4～1月の新設住宅着工戸数は2,556戸(同+0.6%)でした。持家が1,346戸(同±0%)、貸家が627戸(同▲20.7%)、分譲が580戸(同+46.1%)、給与が3戸(同▲50.0%)です。          |         |        |        |          |        |         |
| ●長野県と北信地区の新設住宅着工戸数 (2025年1月/2024年4月～2025年1月累計) (資料:長野県)                                                           |         |        |        |          |        |         |
|                                                                                                                   |         | 持 家    | 貸 家    | 分 譲      | 給 与    | 合 計     |
| 長野県                                                                                                               | 1月      | 367戸   | 295戸   | 358戸     | 2戸     | 1,022戸  |
|                                                                                                                   | 前年同月比   | +4.6%  | +29.4% | +397.2%  | ——     | +57.0%  |
|                                                                                                                   | 4～1月    | 5,190戸 | 2,695戸 | 1,687戸   | 61戸    | 9,633戸  |
|                                                                                                                   | 前年同期比   | +1.1%  | ▲2.4%  | +22.6%   | ▲11.6% | +3.1%   |
| 北信地区                                                                                                              | 1月      | 96戸    | 92戸    | 302戸     | 0戸     | 490戸    |
|                                                                                                                   | 前年同月比   | +6.7%  | +26.0% | +2057.1% | ——     | +176.8% |
|                                                                                                                   | (内長野市)  | 58戸    | 67戸    | 302戸     | 0戸     | 427戸    |
|                                                                                                                   | (前年同月比) | +56.8% | +55.8% | +4933.3% | ——     | +396.5% |
|                                                                                                                   | 4～1月    | 1,346戸 | 627戸   | 580戸     | 3戸     | 2,556戸  |
|                                                                                                                   | 前年同期比   | ±0%    | ▲20.7% | +46.1%   | ▲50.0% | +0.6%   |

## 卸小売業

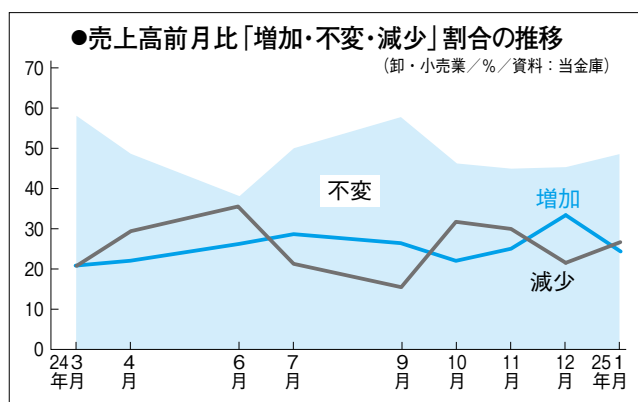
卸売業、小売業

### 「売上高DI」卸売、小売ともに悪化

卸小売業の売上高前月比は、増加した企業が24.4%、不変が48.8%、減少が26.8%となり、売上高DIは▲2.4となりました。前月調査時の+11.9から14.3%悪化しました。

#### ●売上高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

|       |    |         |         |         |
|-------|----|---------|---------|---------|
| 卸小売業  | 前月 | 33.3    | 45.3    | 21.4    |
|       | 今月 | 増加 24.4 | 不変 48.8 | 減少 26.8 |
| 卸 売 業 |    | 23.5    | 53.0    | 23.5    |
| 小 売 業 |    | 25.0    | 45.8    | 29.2    |



#### 【業 種 別】悪化…卸売業・小売業

1月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……113.1(前月比+0.9)

(前年同月比+4.2%)(41カ月連続プラス)

上昇…「食料」「交通・通信」「家具・家事用品」

「光熱・水道」「住居」「保健医療」「諸雑費」

下落…「教養娯楽」「被服および履物」

◇生鮮食品を除く総合指数…111.7(前月比+0.4)

(前年同月比+3.3%)(42カ月連続プラス)

#### 企業からのコメント

☆★観光客は増加しているがおみやげを買わない。店の商品を見直す必要があると感じている。

(土産品小売)

☆★野菜類、果実類、全ての物が高値であったが、1月中旬までは売行きが良かった。(野菜・果実卸売)

★必要な物以外は安くても購入を控える傾向が顕著となってきた。(衣料品小売)

★ガソリン価格の高騰、物価高で世間は買い渋る傾向にある。(和洋菓子小売)

## サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

### 「売上高DI」サービスが横ばい、輸送、外食は改善

サービス業 売上高前月比は、増加した企業が60.0%、不変が20.0%、減少が20.0%となり、売上高DIは前月比横ばいの+40.0となりました。

輸送業 売上高前月比は、増加した企業が57.1%、不変が28.6%、減少が14.3%となり、売上高DIは前月比42.8%改善の+42.8となりました。

外食業 売上高前月比は、増加した企業が66.7%、不変が22.2%、減少が11.1%となり、売上高DIは前月比55.6%改善の+55.6となりました。

観光(旅館)業 入込数は前月比1.3%の減少、前年同月比では3.7%の増加となりました。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」計は52.8%増加の75.0%、「引合いやや増加」は44.4%減少の0%でした。

#### 企業からのコメント

★燃料高騰、2024年問題、修理部品代高騰…。いずれも価格転嫁はできていない状態である。(運送)

☆★インバウンドが好調である反面、日本人の需要がだいぶ落ちている。(ホテル)

☆外国人の方の来店が増加している(アジア系)。スキーなどのレジャー帰りの方も増えている。(飲食店)

#### ●売上高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

|         |    |         |         |         |
|---------|----|---------|---------|---------|
| サービス業   | 前月 | 40.0    | 60.0    | 0.0     |
|         | 今月 | 増加 60.0 | 不変 20.0 | 減少 20.0 |
| 輸送業     | 前月 | 33.3    | 33.3    | 33.3    |
|         | 今月 | 57.1    | 28.6    | 14.3    |
| うちタクシー業 | 前月 | 100.0   | 0.0     | 0.0     |
|         | 今月 | 40.0    | 40.0    | 20.0    |
| 外食業     | 前月 | 33.3    | 33.3    | 33.3    |
|         | 今月 | 66.7    | 22.2    | 11.1    |

業界の市場の将来性 「拡大する」5.7% 「縮小する」32.4%

重点的な経営課題 「人材の確保・育成」「事業の販路・市場拡大」  
「製品・サービスの高付加価値化」

アンケート  
2025年の経営見通し ③  
2024年12月調査

## 業界の市場の将来性

### 「拡大する」はわずか5.7%

「業界全体の市場の将来性をどのように認識しているか」を聞きました。

全産業で見ると、「市場規模は拡大する」は5.7%に過ぎず、43.8%の企業は「市場規模は横ばいで進む」と答え、32.4%の企業が「市場規模は縮小する」と答えています。これは昨年に比べると、「市場規模は拡大する」が+0.2ポイント、「市場規模は横ばいで進む」が+0.4ポイント、「市場規模は縮小する」が+1.7ポイントと大きな変化はありませんでした。

従業員規模で見ると、30人以上は30人未満より「市場規模は拡大する」が9.0ポイント高く12.3%、「市場規模は横ばいで進む」が2.5ポイント高く45.6%となりま

した。一方で30人未満は30人以上より「市場規模は縮小する」が1.1ポイント高く32.7%となりました。

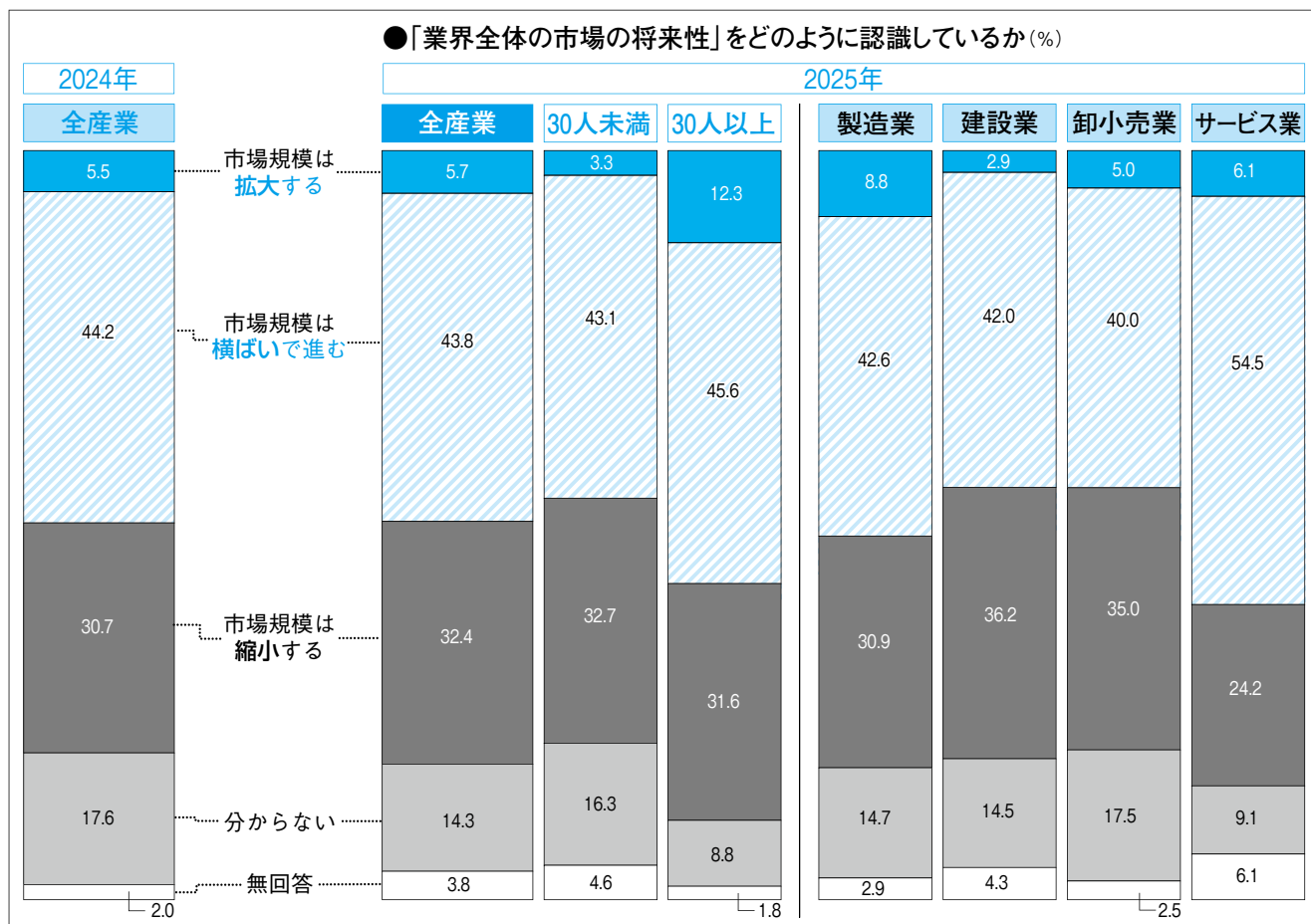
#### ◇4業種(前年比)

**製造業** 前年比「拡大」は▲0.9ポイントの8.8%、「横ばい」は▲4.2ポイントの42.6%、「縮小」は+11.5ポイントの30.9%となり悪化しましたが、それでも「拡大」は他業種に比べ最も高くなっています。

**建設業** 前年比「拡大」は+1.1ポイントの2.9%、「横ばい」は+5.2ポイントの42.0%、「縮小」は▲5.9ポイントの36.2%となりました。「縮小」は他業種に比べ最も高く、「拡大」は最も低くなっています。

**卸小売業** 前年比「拡大」は+0.3ポイントの5.0%、「横ばい」は▲4.2ポイントの40.0%、「縮小」は▲2.2ポイントの35.0%となりやや改善しました。

**サービス業** 前年比「拡大」は+0.7ポイントの6.1%、「横ばい」は+3.1ポイントの54.5%、「縮小」は▲0.1ポイントの



24.2%となりやや改善しました。「悪化」は他業種に比べ最も低くなっています。

## 重点的な経営課題

### 「人材の確保・育成」が51.4%でトップ

「今後、重点的に取り組みたい経営課題は何か」を聞きました。

上位3項目を見ると「人材の確保・育成」(51.4%)、「事業の販路・市場拡大」(38.6%)、「製品・サービスの高付加価値化」(25.7%)となっています。

従業員規模で見ると、30人以上では「人材の確保・育成」(66.7%)が20.9割、「製品・サービスの高付加価値化」(33.3%)が10.4割、「新規事業分野への参入」(12.3%)が9.7割、「設備投資」(17.5%)が9.0割、「経費削減による収益力強化」(28.1%)が6.5割、「IT化の推進」(12.3%)が5.1割、30人未満より上回っています。30人未満では「事業承継問題」(17.0%)が15.2割、「資金調達・資金繰り改善」(8.5%)が6.7割、「新たな仕入先の開拓」(7.8%)が4.3割、「事業の販路・市場拡大」(39.2%)が2.4割、30人以上より上回っています。

## ◇4業種

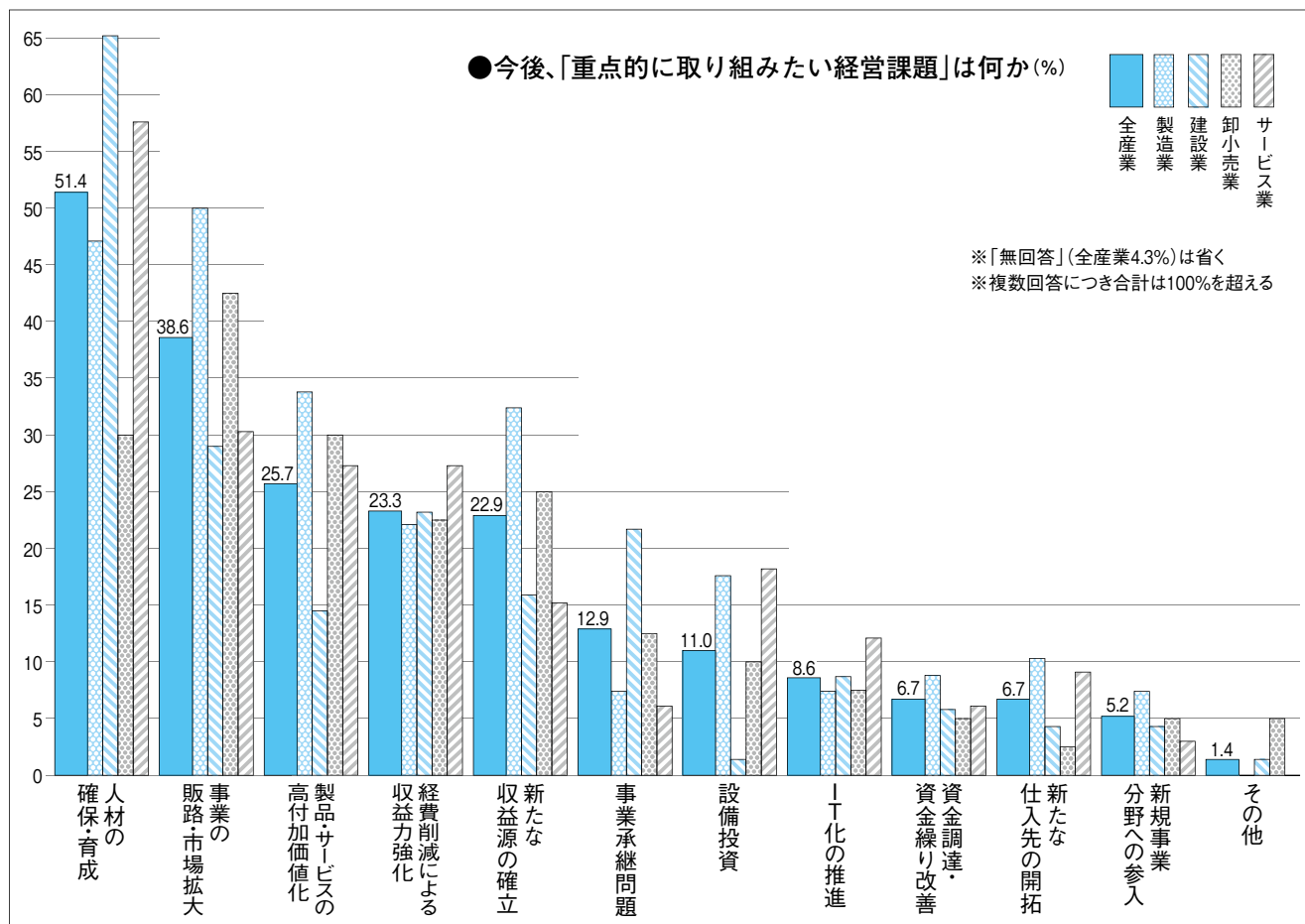
**製造業** 「事業の販路・市場拡大」「製品・サービスの高付加価値化」「新たな収益源の確立」「新たな仕入先の開拓」「新規事業分野への参入」は他業種に比べ最も高くなっています。他方「経費削減による収益力強化」「IT化の推進」は他業種に比べ最も低くなっています。

**建設業** 「人材の確保・育成」「事業承継問題」は他業種に比べ最も高くなっています。他方「事業の販路・市場拡大」「製品・サービスの高付加価値化」「設備投資」は他業種に比べ最も低くなっています。

**卸小売業** 「人材の確保・育成」「資金調達・資金繰り改善」「新たな仕入先の開拓」は他業種に比べ最も低くなっています。

**サービス業** 「経費削減による収益力強化」「設備投資」「IT化の推進」は他業種に比べ最も高くなっています。他方「新たな収益源の確立」「事業承継問題」「新規事業分野への参入」は他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は「価格転嫁」に関するアンケートを予定





## 次世代に繋がる未来を 創る企業を目指して!

有限会社 鵜野興産  
代表取締役 鵜野 泰寛さん

### ●創業の経緯をお聞きます…

私の祖父は長野電鉄で働くかたわら、兄弟で石工を行っていました。父・鵜野武勇も祖父と同様に長野電鉄に入り働く中で、建設や不動産部門を担当し知識を得て1982(昭和57)年に独立し、不動産と石工を行うことを目的に(有)鵜野興産を設立したのが始まりです。

### ●社長になられた経緯をお聞きます…

私は学校を卒業後、名古屋市に本社がある建設企業に入社して経験を積み、現場監督なども行うようになりました。やがて長野冬季五輪関連工事の仕事が忙しくなり長野支社に転勤。五輪が終了し業務が一段落したところで退職しました。当時、地元の長野で建設会社を始めたかったのですが、建設会社を設立するための資格は有していたものの、工事の実績が必要な時代でしたので、父に頼み2008(平成20)年に(有)鵜野興産に入社しました。

私は現場で建設の段取りをするのですが、前の工程が短時間で終わり、続きの工程を行えるのが次の日となると工期もその分遅れてしまうのが苦になり、ずっと「一社で全てができれば良いのに」と考えていました。そんなとき、縁があって職種の異なる職人が立て続けに入社してくれることになり、現在の当社の礎ができました。

私が当社に入社して2年後の2010(平成22)年、父が他界。私は34歳のときに代表取締役に就任しました。突然のことでしたが、当時、現場のかたわら営業面や見積りなども懸命に勉強し、社員や周囲の人たちに助けていただいたこともあ

って何とか事業を継続することができました。会社の団結力が以前にも増して強まりましたし、業績も上がりました。現在では、解体から完成までの全てができる建設会社に育ちました。

### ●業務の概要をお聞きます…

当社の業務は建築工事が主になりますが、先にも申しましたとおり、解体から全ての業務を行います。住宅の工事ではお客様から土地を探して欲しいと頼まれれば不動産部が土地から探し、そこに中古住宅があれば解体をし、上下水道や電気が無ければ申請から引き込み工事、基礎工事はもちろん木材の墨付け、加工まで一社で行います。

全ての業務をスムーズに行う上で注力しているのが、職人の技術向上のための資格取得にかかる費用の支援や、必要な機材への設備投資です。加えて、令和に入り、例えば配管を行う会社や、水回りリフォームを行う会社などと資本提携し、より隙間のない工事ができるようになりました。法律が変われば、それに対応するために新たな業務も必要となります。例えば、2023(令和5)年10月から大気汚染防止法が改正となり、100万円以上の解体工事を行う場合、有資格者によるアスベストの事前調査・分析が義務化されました。他社に依頼すると工事が滞る可能性があるため、令和5年に社員にその資格を取ってもらい自社で調査・分析できるようにしました。

そして、人手不足を解消するため、7年前からはフィリピンの技能実習生を積極的に受入れています。しかし、技能実習生は原則として3年で帰国させなければならず、ほぼ一人前になって「これから」というときに帰国してしまうのはとてもショックでした。そのため、一時は受入を中断していたのですが、昨年から再開しました。毎年、採用することにより3年たつて帰国しても切れ目はなくなり、帰国した人が特定技能として戻ってくると即戦力に

なります。建設業は日本人には敬遠される職種ですが海外の人は良く働かし技術習得も早いです。当社の社員の平均年齢は37歳で、業界の中では若い方だと思います。

#### ●今後の方針や夢をお聞きます…

夢は、二つあります。一つ目は、建設業界を若い人たち男女問わずに人気(魅力)のある職種にしたいと思っています。日本の建設技術は世界でもトップ級なのに、職人が不足しているとの理由で衰退していくのはとても悲しい思いです。皆さんが思っている以上に現在の業界の“人手不足”は深刻で、10年後がとても不安です。例えば、今後、東日本大震災のような大きな震災が起こったとき、建設業界の職人不足で復興が遅れる可能性もありますし、今は職人の人件費や建設資材の高騰で「住宅を建てられない」時



建築工事



資材、車両置き場

代ですが、数年後には職人がさらに不足して「住宅が建たらない」時代が来ると思います。当社も、人材確保には積極的にチカラを入れていきたいと思っています。

もう一つの夢は、農業に挑戦したいと思っています。業種柄、建設業と農業では機械の仕組みが似ているし、無駄がないような気がしています。米や有機野菜をつくれば大切な社員の家計も助かるし家族も含めて健康になる。社員が高齢となり建設業が体力的に無理になれば、できる範囲で農作業に従事してもらうことにより雇用の維持にもつながる。私自身、目下、米づくりを勉強中です。



アスベスト調査分析業務

#### ●事業の概要

設 立 1982(昭和57)年  
資本金 2,000万円  
代表者 鵜野泰寛  
従業員 18名(男14名・女4名)  
業 務 建築工事業  
事業所 長野市大字北尾張部849-4  
U R L <https://www.unokousan.jp/>

#### ●沿革

昭和57年 鵜野武勇が法人設立  
平成20年 建設業許可を取得  
平成22年 鵜野泰寛が代表取締役就任  
令和3年 オールパイピングシステム(株)と資本提携  
令和4年 (株)栄明と資本提携  
令和5年 新規事業アスベスト調査分析業務を開始  
令和6年 (株)日本リサイクル化成と資本提携

# 北信濃 明治時代の風景

## (36) 若里

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



この図は、明治10年(1877)代に作られた「上水内郡若里村」の図の主要部分です。若里村は、明治9年(1876)に市村と荒木村が合併して発足しました。これが現在の長野市若里です。若里は、この時できた新しい地名なのです。水内郡は、明治12年(1879)に上水内郡と下水内郡に分割されたので、この図はその後に作られたことが分かります。

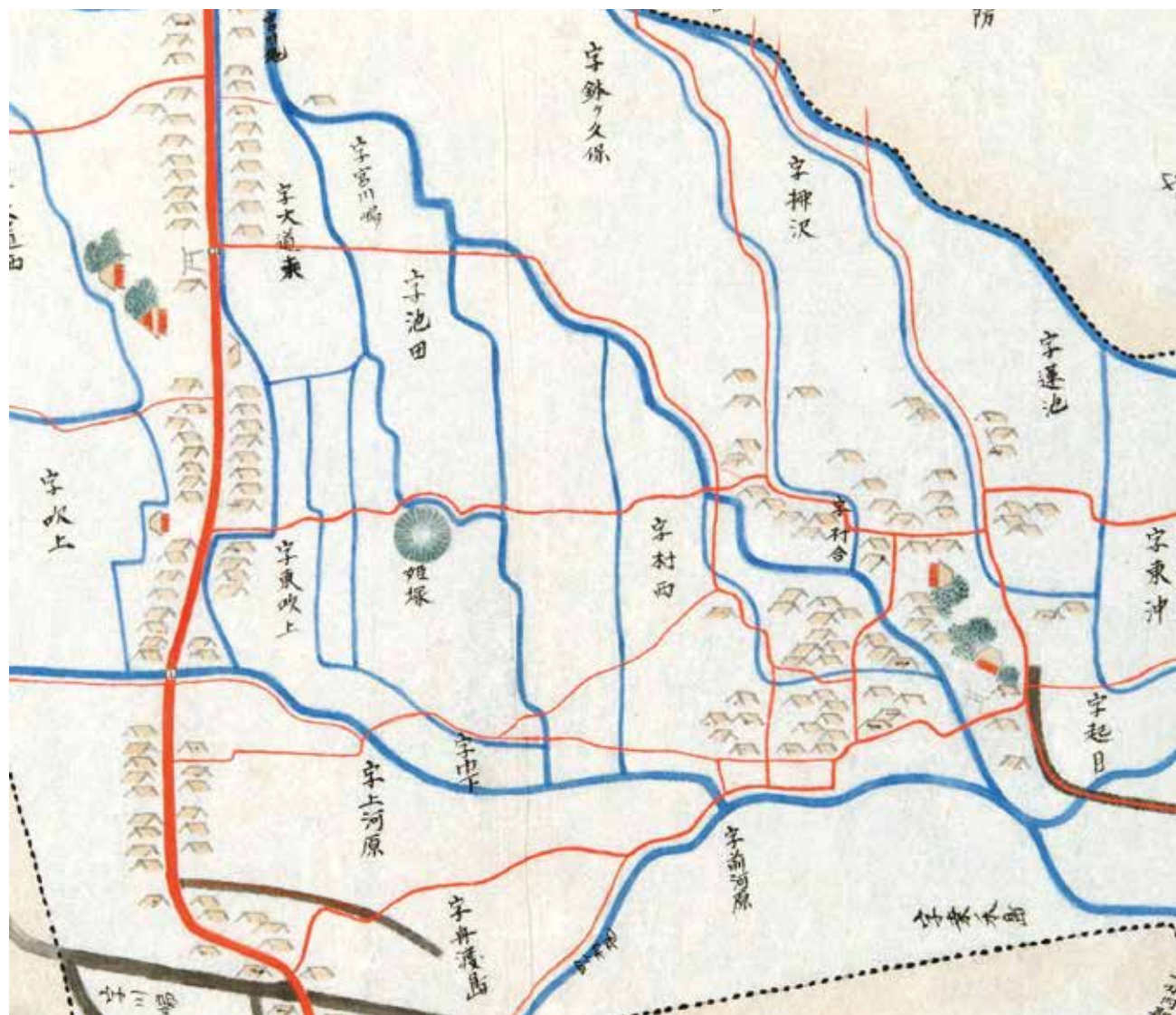
### 荒木村と市村の合併から芹田村へ

この図を見ると、左側(西側)を南北に貫く街道(北国街道)に沿って人家が連なり、また右側(東側)には大きな集落があります。これが旧荒木村と旧市村です。荒木村は幕府領(天領)であり、市

村は松代藩領でした。まったく違う両村が合併したのは、県の強い指導があったためでした。善光寺門前の権堂村、問御所村、七瀬村が合併して鶴賀村となったのも、この時です。しかし合併にはかなり無理があったため、旧荒木村と旧市村では明治17年(1884)に分離運動が起こりましたが、県は認めませんでした。その後は市制・町村制の実施にともない、明治22年(1889)には若里村、稲葉村、栗田村、中御所村に旧七瀬村等が加わって芹田村ができました。

### 市村の歴史

市村と荒木村の中で、ことに古い歴史が分かる



「上水内郡若里村」の図 (長野県立歴史館蔵)

のは市村です。東端の「字東沖」からは、「市寸」と墨書された奈良時代の須恵器<sup>すえき</sup>が出土しています。「市寸」は「市村」の省略と思われるので、奈良時代から市村と言う地名があったことが分かります。ここは犀川の渡し場で人が集まるため、市が立ったから市村という地名が生まれたのでしょう。治承4年(1180)に源氏と平家が戦った市原合戦は、この地で行われたと推定されています。



北国街道沿いにある木留神社

### 犀川の旧流路

この図の南部(下部)には、「字上河原」「字前河原」という地名があります。ここは犀川の旧流路です。現在の裾花川は若里地区の西側を南に向かって流れていますが、かつては県庁付近から東に向かって流れていました。現在の流路は、江戸時代初期に造られたものです。それにより犀川が南側に押し出され、現在の流路になったと言われています。「字上河原」の右にある「字巾下」も崖下という意味で、河岸段丘の下の低い土地を意味しています。

### 北国街道

若里村の西側を南北に貫く北国街道は、東海道や中山道などの五街道に次ぐ重要な街道でした。中山道の追分宿(軽井沢町追分)で中山道と分岐し、小諸、上田の城下を通して善光寺に至り、越後へ通じています。金沢と江戸を結ぶ街道で、佐渡の金銀を江戸へ運ぶ道でもありました。若里村の北国街道は、善光寺の南の入口でした。街道に沿って南から、吹上地藏堂、蓮心寺、木留神社などが描かれています。「吹上」には茶屋があり、名物の吹上そばで知られていました。

### 姫塚と伝導寺

「字東吹上」の右に「姫塚」が描かれています。善光寺四十九霊地の善光寺七塚の1つで、玉鶴姫の伝説で知られています。玉鶴姫は、源氏の武将熊谷直実の娘です。直実は出家して、善光寺にいました。玉鶴姫は善光寺如来の救いを求めて善光寺に向かう途中、この地で父に看取られて没したと

伝えられています。

### 農事試験場から若里公園へ

この図の上部の「字鉢ヶ久保」周辺は人家がなく、広い耕地になっています。ここを借用して、明治30年(1897)に長野県農事試験場が開設されました。以後昭和47年(1972)に移転するまで、80年に近くこの地で作物の栽培技術や品種改良の研究が行われました。昭和54年(1979)に県立図書館がこの地に移転し、昭和58年(1983)には県民文化会館が開館して、周辺は若里公園として整備されました。

### 鐘紡から長野赤十字病院へ

この図の下部の「字前河原」周辺も耕地でした。この地に昭和13年(1938)に、鐘ヶ淵紡績(鐘紡)長野工場が開設されました。昭和20年(1945)11月には、ここに長野進駐軍司令部が置かれました。鐘紡が撤退した後は、昭和58年(1983)に長野赤十字病院が北石堂町から移転して、現在に至っています。

### 工業専門学校から信大工学部へ

「姫塚」の東側も耕地でした。ここに昭和18年(1943)に長野高等工業学校が開校しました。翌年には長野工業専門学校と名を改め、昭和24年(1949)に信州大学工学部となりました。

### 市場団地からビッグハットへ

図の右下の「字起目」付近も耕地です。ここは昭和40年(1965)から昭和63年(1988)まで、市場団地でした。その跡地にできたのが、冬季オリンピックの施設ビッグハットです。

4月号からは「北信濃の旅人」を連載する予定です。

## ◆生活の「悩みや不安」

「物価高」45.6% 「自分や家族の健康」28.2% 「家計の収入」21.5%

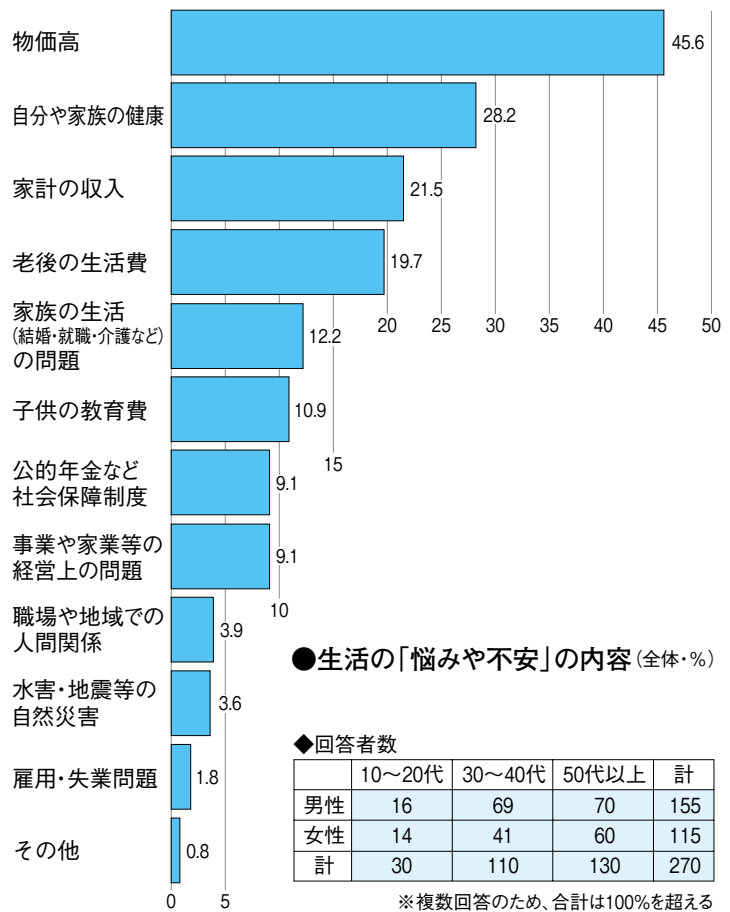
前号で「生活の中で悩みや不安を感じている」と答えた69.9%の人に、その「悩みや不安の内容」を聞きました。

全体の1～3位を見ると、1位は「物価高」で45.6%、2位は「自分や家族の健康」で28.2%、3位は「家計の収入」で21.5%となりました。

男女別で1～3位を見ると、男性、女性ともに全体と同様の順位となっていますが、女性の「物価高」への不安は男性の42.4%に比べ7.6ポイント高い50.0%となっています。

世代別で見ると、全ての世代で「物価高」が1位となっていますが、2位は10～20代が「自分や家族の健康」と「家計の収入」が同率、30～40代が「家計の収入」、50代以上が「自分や家族の健康」という結果となっています。

〈当金庫・2024年12月調査〉



## ●みなさまの税務相談のご案内 [4月]

(注)上の店名は開催場所、下の( )内店名はその相談日に含まれる対象店です。

| 開催日     | 午前                     | 午後                   | 開催日      | 午前                   | 午後              |
|---------|------------------------|----------------------|----------|----------------------|-----------------|
| 4月 2日 水 | 若槻支店<br>(城北支店)         | 東長野支店<br>(柳原支店)      | 4月 14日 月 | 須坂支店<br>(墨坂支店・太子町支店) | 豊野支店            |
| 3日 木    | 本店営業部<br>(権堂支店・善光寺下支店) | 川中島支店<br>(川中島駅前支店)   | 16日 水    | 中野支店<br>(小布施支店)      | 山ノ内支店<br>(飯山支店) |
| 4日 金    | 篠ノ井支店<br>(川柳支店)        | 松代支店<br>(更北支店)       | 18日 金    | 大門町支店<br>(桜枝町支店)     | 飯綱支店            |
| 8日 火    | 石堂支店<br>(伊勢宮支店)        | 七瀬支店<br>(南支店)        | 22日 火    | 本店営業部                | 古里支店<br>(吉田支店)  |
| 9日 水    | 長池支店<br>(大豆島支店)        |                      | 23日 水    | 本 部                  |                 |
| 11日 金   | 稲荷山支店<br>(屋代支店)        | 上山田支店<br>(戸倉支店・坂城支店) | 25日 金    | 本 部                  |                 |



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <https://www.nagano-shinkin.jp/>

